

2021 0 コマ目の記録

2021年5月31日(月)~6月6日(日)

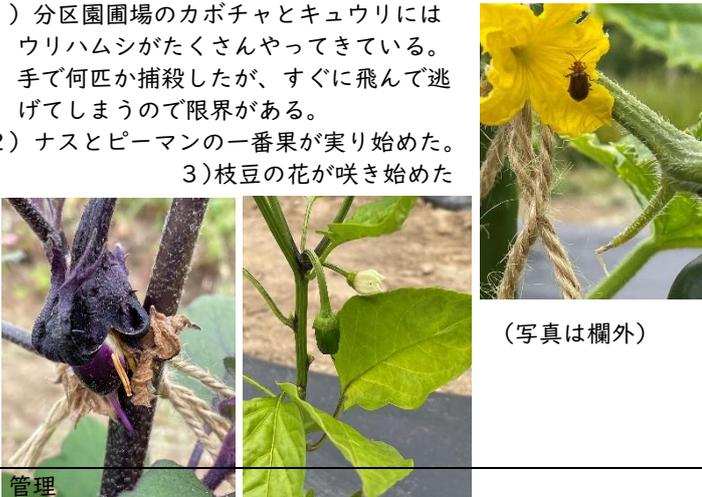
栽培中の植物

- シソ
- イタリアンパセリ
- サルビア・コクシネア
- バジル
- マリーゴールド
- サルビア・ファリナセア
- 千日紅
- ペチュニア
- ジニア
- コリウス
- サルビア
- ヒマワリ

栽培管理内容

日時	天気	気温(°C)	管理・植物の様子・指導
		最高(°C)	
		最低(°C)	
5/31(月) 8:30	晴れ	気温(27°C)	1. 管理 1) 灌水：ペチュニア、マリーゴールド、サルビア、ジニア、ヒマワリ、ジニア、イタリアンパセリ (葉に張りがなくポットの重さも軽く、土が乾燥しているため) 分区園圃場のすべての野菜(土が乾燥しているため) 2) 施肥：セルから鉢上げしたポット苗(シソ、バジル、千日紅、マリーゴールド、コリウス) ・ハイポネックス 2000 倍液肥を施肥 3) 花殻摘み：サルビア・コクシネア、マリーゴールド (6月5日定植に向け株の老化を防ぐため) 4) スペーシング(トレイ間)：マリーゴールド・ペチュニア (トレイを置く間隔を広げ、日照と通気を確保) 2. 植物栽培のポイント 1) ハダニ防除：ハダニは乾燥して高温だと多く発生するため、これからの季節は特に乾燥しすぎないことが大切。ホースノズルをシャワーにし、葉裏に当てることで駆除できる 2) 花殻摘みの間隔と施肥：前回の花殻摘みから4日目まで次の花が開花→次々と花が咲くタイプは肥料をどんどん必要とするため、定植後も定期的な施肥が必要
		最高(31°C)	
		最低(16°C)	
6/1(火) 8:30	晴れ	気温(28°C)	1. 管理 1) 灌水：すべての花苗 2) 遮光カーテンを閉める(8:30) (終日晴れの予報で、すでに気温が28°Cだったため) →自動運転に切り替え(17:30) 2. 観察 ・ハダニの系がついた苗(ジニア)を発見 3. 植物栽培のポイント 1) 薬剤を用いたハダニの防除 ・ハダニ専用の殺虫剤を使う ・耐性ができるため、同じ薬を使い続けられないこと →1回目の散布の1週間後に成分が違う薬剤を散布するのが効果的(1週間後に散布する理由は、卵には薬が効かないため孵化のタイミングで2度目の散布を行う) 2) 害虫の防除について (1) 物理的防除：ネットを張る (2) 科学的防除：薬剤 (3) 生物的防除：天敵 3) 害虫の写真撮影の注意点 ・何の植物についていたかが大切 ・調べる際、ポピュラーな植物でない場合(図鑑に載っていないなど)は、同じ科・属の植物で調べるとよい ・大きさの目安となるよう基準となるものと一緒に撮影する
		最高(33°C)	
		最低(16°C)	



6/2(水) 8:30	晴れ	気温(22℃)	1. 管理 1) 灌水:ヒマワリ・水切れしている苗のみ(マリーゴールド・サルビア・ジニア) 8:30 ペチュニア・ラテルナホワイト全株、ジニア全株、サルビア(水切れ苗のみ) 13:30 2) 花殻摘み:ペチュニア・サルビア・ジニア 3) 遮光カーテンを手動で閉める(13:25) ・気温が32.5℃になったため →遮光カーテンを自動に戻す(17:30) 4) 害虫駆除:ジニア2株(水で洗い流す・手で取り除く) 5) 分区園圃場:全体に灌水 2. 観察 1) 分区園圃場のカボチャとキュウリにはウリハムシがたくさんやってきている。手で何匹か捕殺したが、すぐに飛んで逃げてしまうので限界がある。 2) ナスとピーマンの一番果が実り始めた。 3) 枝豆の花が咲き始めた
		最高(33℃)	
		最低(16℃)	
 (写真は欄外)			
6/3(木) 8:30	晴れ	気温(23℃)	1. 管理 1) 灌水:すべての花苗・野菜苗 2) 花殻摘み:ペチュニア・サルビア 3) 遮光カーテンを手動で閉める(8:20) →自動へ戻す(17:10) 4) 天窓・側窓を手動で閉める(17:10) 5) 南北の扉を閉める(17:10) } 夜から天気が大幅に変わり 風雨が強まる予報のため 2. 作業 ・翌日の雨に備え、定植予定の花壇に雨除けのビニルシートを張る :水がたまり、ぬかるむのを防ぐため 3. 植物栽培のポイント 1) 風雨が強まるので夜は温室を締め切るが、気温が高く蒸れるので、病気・害虫に注意する 2) 定植前の苗について ・定植当日には灌水しない。 理由:①根鉢が崩れず扱いやすい ②水を含み根鉢が崩れると根が切れる
		最高(32℃)	
		最低(18℃)	
6/4(金) 8:30	雨	気温(22℃)	1. 管理 1) 灌水なし:昨夜から雨で湿度が高いため 2) 西側窓のみ半分開ける(9:00):昨夜からの強風が収まっていないが、蒸れを防ぐため 3) 全て自動運転に戻す(17:20):風雨が弱まったため 2. 作業 ・翌日の花壇への定植準備:花壇ごとに必要な種類・数量の花苗仕分け
		最高(31℃)	
		最低(20.5℃)	
6/5(土) 8:30	曇り/晴れ	気温(22℃)	1. 管理 1) 灌水:定植しないペチュニア(ピンク・紫) 8:30
		最高(26℃)	

		最低(17℃)	<p>定植する苗には灌水せず 定植しなかった苗すべてに灌水(18:00)</p> <p>2) 花殻摘み:ペチュニア・サルビア</p> <p>3) 遮光カーテンを手動で閉める(8:25) →遮光カーテンを自動に戻す(12:50)</p> <p>2. 作業</p> <p>1) 園芸療法ガーデンへの苗の定植:植栽計画図面にに基づき実施</p> <p>【工程】</p> <p>①施肥・耕耘・整地 ②レンガ・タイルの設置 ③植え付け場所・苗の確認、花壇苗の配置 ④植栽 ⑤灌水</p> <p>2) 定植後の初期管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活着するまでは毎日観察し、必要に応じて水やりを行う ・咲き終わった花はこまめに花殻摘みをする ・生育に応じて、切り戻し、施肥(追肥)などの管理を行う ・病虫害の発生がないか観察し、発生したら初期のうちに対応する
6/6(日) 8:10	晴れ	気温(22℃)	<p>1. 管理</p> <p>1) 灌水(温室内):行わず(8:10)</p> <p>2) 遮光カーテンを手動にて閉める(8:10):陽射しが強いため →16時頃:カーテンを自動運転に変更。</p> <p>3) スペース:定植しなかった苗</p> <p>4) 分区園圃場:トマトわき芽かき、キュウリ誘引調整、キュウリ一番果収穫(2株)</p> <p>5) 園芸療法ガーデン:午後になり、水切れしている苗が散見されたためすべてのエリアに灌水(18:30)</p> <p>2. 観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨日花壇に定植した花苗は午後には水切れするものがあった。 ・昨日挿し穂を行った挿し床は温室内の寒冷紗で覆った棚に置き、底面給水をして管理。 挿し床の植物にはしおれるなどの変化はなく、順調と思われる。
		最高(26℃)	
		最低(18℃)	



大玉トマト、ミニトマトは赤くなるのを待つばかり(6/2)



エダマメの花が咲き始めた(6/2)



誘引するひもを固く縛りすぎていた(上の写真)ので、結びなおした(6/6)